

1/21 伊藤段ボール工業所と協定

伊藤段ボール工業所（名古屋市）と「災害時における避難所設営等に必要な物資の供給に関する協定」を締結しました。この協定により、避難所設営に必要な段ボールベッドや間仕切りを優先的に供給してもらえます。

伊藤衛社長は「災害時に個の空間を確保することをコンセプトに設計しており、いざという時には、約1分で組み立てることができます。今回初めて自治体と協定を結ばせていただくが、こうした製品を使わずに済むことを願っています」と述べられました。



▲伊藤衛社長と堀町長

1/22 租税教室

名森小学校で6年生を対象に、次代を担う児童に税の意義や役割を正しく理解してもらおうと役場税務課職員による租税教室が開催されました。

児童たちは税金の種類、救急車や学校、道路など、皆が使うものに税金が使われていることなどを学びました。

代表児童は「税金を納めても意味がないと思っていましたが、税金を納めないと恐ろしい生活になると分かったので、税金についてよく分からない子に説明できるようになりたいです」と話してくれました。



▲税について真剣に学ぶ児童

2/12 百梅園ボランティア

百梅園ボランティアの皆さんによる百梅園の清掃活動が行われました。

同団体の吉田満郎会長は「百梅園に来てくれた人が、気持ちよく梅を見て帰ってもらえる環境を整えたいという気持ちで清掃活動をしています。ボランティア仲間と情報交換するのも楽しみの一つです」と話されました。

百梅園ボランティアは毎月1～2回程行われ、参加は随時受け付けています。詳しくは産業振興課（☎64-7113）へお問い合わせください。



▲雑草を丁寧に刈り取ります

2/18 地域包括ケアを考える会

「あなたが主役 あんぱちの地域包括ケアを考える会」がリモート開催されました。第1部では5名の元気サポーターによる活動報告、第2部では東京大学高齢社会総合研究機構の神谷哲朗先生による講演会を行いました。

元気サポーターからは、手作りマスクを寄付したことや、フレイル予防の体操教室を始めたことなどの報告がされました。

神谷先生からは、コロナ禍における外出自粛や活動自粛により発生する「コロナフレイル」が今後心配されており、地域のサポーターの活動がより重要になると話されました。



▲活動報告をする元気サポーター